

第44回救急医療関係功労者知事表彰 名簿

(敬称略)

No.	氏名等	所属等 (所在地)	役職等	年齢	功績内容
1	しゃかいほけんなかばるびょういん	糟屋郡志免町	-	-	平成2年から救急告示医療機関として長きに亘り、内科・整形外科を軸とした救急症例を多く受け入れ、高齢化が進む粕屋医療圏における二次救急の受け皿として、地域の救急医療体制の充実と発展に貢献し続けている。
	社会保険仲原病院				
2	いまだち しゅんいち	医療法人みらい 今立内科クリニック (久留米市)	副院長	77歳	昭和53年から地域の救急医療等に昼夜勤めで献身的に尽力し、休日は日祝日在宅医療機関として努めるなど、長きに亘り、地域の救急医療体制の維持・発展に貢献している。
	今立 俊一				
3	いしばし あきと	-	医師	75歳	平成元年から、初期救急医療の役割を担う福岡市立急患診療所に36年の長きに亘り出務し、福岡市における初期救急医療体制の充実と発展に多大なる貢献をしている。
	石橋 明人				
4	やました ひろのり	独立行政法人国立病院機構 小倉医療センター (北九州市)	名誉院長	69歳	救急告示病院の病院長として、小児救急患者の受け入れ体制の整備・充実を推進するとともに、診療の傍ら小児科医として休日夜間急患センターに精力的に出務するなど初期救急医療体制の充実にも多大なる貢献をしている。
	山下 博徳				
5	そう ひろのぶ	社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 (北九州市)	院長	66歳	救急告示病院の統括副院長として、救急患者の積極的な受入体制の整備・充実を推進するとともに、自らも消化器外科医として救急医療の最前線で救急外科診療や高度急性期医療に携わるなど、地域における救急医療体制の維持・発展に大きく貢献している。
	宗 宏伸				
6	こばやし くにひさ	福岡大学筑紫病院 (筑紫野市)	医師	63歳	平成11年から県内の医療機関にて救急医療に従事。現在も救急医療の最前線で地域の救急医療に昼夜勤めで献身的に貢献し続けている。
	小林 邦久				
7	うえの かずひろ	上野循環器科・内科医院 (宗像市)	院長	55歳	平成7年から県内の医療機関にて救急医療に従事。現在も日常診療の傍ら、初期救急医療の役割を担う宗像地区急患センターへ精力的に出務するなど、地域の救急医療体制の維持・発展に貢献し続けている。
	上野 一弘				
8	いとう たかひこ	地方独立行政法人 大牟田市立病院 (大牟田市)	部長	54歳	平成8年から県内の医療機関にて救急医療に従事。現在も現場で培った豊富な臨床経験を活かし、救急医療の最前線で地域の救急医療体制の維持・発展に寄与し続けている。
	伊藤 貴彦				
9	まなこ たかし	久留米大学病院 (久留米市)	副主任 看護師	51歳	平成12年から県内の医療機関にて救急医療に従事。現在も救急医療の最前線で従事する傍ら、地域の救急医療提供体制の維持・発展のため、外傷看護を中心に救急看護、プレホスピタル看護など様々な分野において、後進の指導・教育にも尽力している。
	真子 敬史				
10	はらぐち まさたか	田川地区消防本部	消防司令補	56歳	平成13年から救急救命士として約13,000件以上の救急現場へ出動し、永きに亘り、救急現場の第一線で多くの命を救命するとともに、現場での経験を生かし、後進の育成にも尽力するなど、救急救命士の資質向上及び救急業務の推進にも大きく貢献している。
	原口 正孝				
11	たかやま よしひろ	粕屋南部消防組合 消防本部	消防司令	64歳	平成12年から救急救命士として、永きに亘り、救急現場の最前線で多くの命を救命するとともに、現場での経験を生かし、後進の育成にも尽力するなど、救急救命士の資質向上及び救急業務の推進にも大きく貢献している。
	高山 義博				
12	たなか じゅん	甘木・朝倉消防本部	消防司令長	55歳	平成15年から救急救命士として、永きに亘り、救急現場の最前線で多くの命を救命するとともに、指導救命士として救急隊員への後進育成にも尽力するなど、地域における救急業務の発展に多大なる貢献をしている。
	田中 淳				